

ウールの遊び毛について

遊び毛が発生するメカニズム

ウールの糸は通常10cm前後の長さの繊維を並べ、方向を整えた後撚りをかけて繊維の束をしめることによって糸にしています。



図1 繊維を並べた束

撚りをかける



図2 撚りが掛かって糸になったもの

ウール糸を使ったカーペットを横から見ると図3のようになっています。



図3 (カットパイルの例)

ウール糸を使ったカーペットは、カーペットの土台部分より上に出ているパイルの長さが7~10mm程度のもが多く、原料（ウール）に使われている1本1本の単繊維は10cm前後の長さを持っているため、その大部分がカーペットの土台部分にしっかりと固定されています。ですが、図4のように、カーペットの土台に短繊維が届いていない位置で繊維が切られてしまう部分も発生します。この上の部分に残った短い繊維や、通常10cm前後の長さの繊維ですが、天然繊維ウールの短い毛が、徐々に浮き上がってきて毛ぼこりのようなものが「遊び毛」と呼ばれるものです。



図4

「遊び毛」は、撚りを掛けられた糸の束の中でしっかりと締め付けられているので、簡単には抜けてきませんが、カーペットの上を歩行したり、触ったりすることで、少しずつ抜け出てきます。「遊び毛」は短い繊維が残っている新品に近いほど多く発生します。ですが、使用していくに従って短い毛の量も減ってくるため、少しずつ減少していきます。使用頻度にもよりますが、おおよそ6ヶ月程度は、かなりの遊び毛が発生しますが、その後は少しずつおさまっていきます。日常の掃除機によるバキューミングメンテナンスで、表面についた汚れとともに遊び毛も取り除くことで、部分汚れが目立っているところも少しずつ遊び毛とともに取り除かれ、カーペットの美観が維持されます。

遊び毛の量は、商品にもよりますが、6帖のお部屋を一度掃除すると掃除機のタンクがいっぱいになるくらい出ます。はじめは驚かれ、カーペットから毛がなくなってしまうのではないかと心配になるかもしれませんが、ウールは多くの空気を含んでいるのでご安心ください。

メンテナンスを丁寧に行うことで、長く使用できるのがウールカーペットです。